

千葉市史ミニ企画展特別講演
「馬と牧士と牧付村と～江戸幕府直営牧をめぐって～」…1
千葉市の鉄道ブレイバック!!
その1 千葉都市モノレール・京葉線……………2-3
【こぼれ話】市川・船橋戦争の影響～戊辰戦争と千葉市域
／平成30年度 千葉市史主催講座のご案内……………4

NO.20 2018.3

ちば市史 編さん便り

ちば市史 ミニ企画展 特別講演

馬と牧士と牧付村と～江戸幕府直営牧をめぐって～

実は「牧」Year だった？ 2017年

千葉市史編さん担当にとって、2017年は「牧」と共に始まり共に終わった一年間。酒々井町主催の「牧フォーラム」への参加、そして9月29日から2018年1月14日まで行われた「市史ミニ企画展 千葉市域における近世の馬と牧」…終始「牧」について考えさせられた一年でした。

ちば市史ミニ企画展特別講演「馬と牧士と牧付村と」

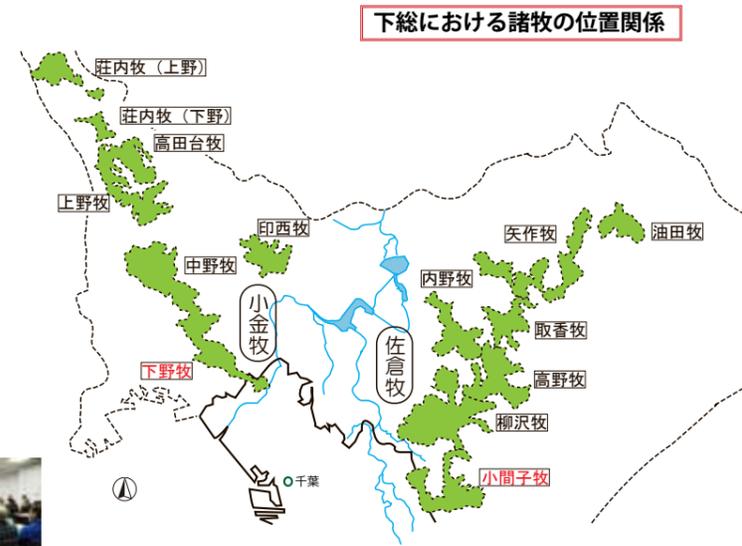
そんな「牧」イベントの集大成として、特別講演「馬と牧士と牧付村と～江戸幕府直営牧をめぐって～」を開催いたしました。ミニ企画展期間終盤の2017年12月



16日（土）、千葉県で江戸時代の「牧」について語っていただくなら、この先生しかいない！と、千葉市史編集委員もお願いしております国学院大学客員研究員の高見澤美紀先生を講師にお招きして開催しました。

千葉県北部に広がる広大な下総台地は、古代から馬の放牧が行われていた場所です。江戸時代には、ここに幕府直営の牧が設置されていました。下総の諸牧は、大きく小金牧・佐倉牧の2つに分けられ、現在の千葉市域は、右上図のように東西が少しずつ両方の牧にかかっています。講演タイトルにもある「牧士」は、牧の現地管理を実際に担う地域の有力者で、牧の「御用」をつとめる間は、幕府から給与や名字帯刀などの特権を得、「武士」としての扱ひを受けていました。千葉市域では、今回の展示で主に取り上げた北柏井村（現花見川区柏井町）の名主、川口家が牧士をつとめていたことが知られています。ご講演では、牧士としての川口家や周辺村々（牧付村）と牧との関わりに触れながら、「幕府直営牧」における「日常」を通して、下総の「牧」像をわかりやすくお話いただきました。

本講演は応募者が定員を超えたため、断腸の思いで抽選をいたしました。多くの方にご応募いただきましたこと、本当にありがとうございました。



下総における諸牧の位置関係

ご応募の動機はさまざまですが、「牧」に興味があったという方も多く、担当だけでなく、ひょっとして世間一般にも今年のトレンドは「牧」だったのか？と思うほど。講演後にご協力いただいたアンケートからも、皆さんにとっても楽しんで学んでいただけたことがよくわかります。ここに、その感想を一部ご紹介いたします（先生のお話の巧みさが、何より本講演の最も高評価をいただけている部分ではありますが、ここでは講演・展示内容に関するものを）。

当日ご参加いただきました方々、そしてアンケートへご協力いただきました方々へ、改めまして、この場を借りて心より御礼申し上げます。

- ▼牧と馬をテーマに様々な角度からもう少し詳しく教えていただきたい。古文書そのものを使つての講座も希望します（80代・男性）
- ▼京成沿線でよく目にする風景が、台地～牧～谷津で結び付きました。八街あたりの特産物のいわれも、時間を超えて判ります（60代・男性）
- ▼わかりやすく楽しい講座でした。機会がありましたら是非また参加したいと思います（70代・女性）
- ▼古文書の資料は貴重である。大変興味深い内容でおもしろく拝聴した（80代・男性）

ちば歴史散策こぼれ話

第8回 市川・船橋戦争の影響 —戊辰戦争と千葉市域

「明治維新 150年」…ということで、2018年は各地でさまざまなイベントが開かれています。NHK大河ドラマは西郷隆盛、関係書籍もいろいろと出ているようで、盛り上がりを見せているようです。

慶応3年（1867）、将軍徳川慶喜が政権を朝廷へ返還、江戸幕府が幕を下ろしました。翌年1月には徳川家の処分をめぐる旧幕府軍と新政府軍が鳥羽・伏見で戦闘を開始、戊辰戦争が始まります。あまりにも有名な、この維新の動乱に、千葉市域の人びとはどのように関わったのでしょうか。

江戸城開城前後より、多くの旧幕府軍が江戸を脱出、関東各地で新政府軍と激突し、戦闘が繰り返されました。このうち、上総方面で兵力を蓄えていた旧幕府撤兵隊は、市川・船橋方面へ進出し、慶応4年閏4月3日夜明け前、八幡（現市川市）と鎌ヶ谷で新政府軍と激突。この戦いに敗れた彼らは、本拠を構えた木更津方面へと撤退していき、追撃のために新政府軍が続々と現在の千葉市域にも

入り、薩摩・長州・岡山藩などは曾我野（現中央区蘇我町）に、佐土原・薩摩藩別隊が千葉町（現中央区本町付近）、大村藩が寒川（現中央区寒川町）に駐屯しました。このとき千葉町に駐屯した藩兵は妙見寺（現千葉神社）に宿営し、周辺の人びとが炊き出しなど戦闘以外の用務にかりだされたといわれています。翌7日上総八幡（現市原市八幡）から養老川、五井・姉ヶ崎間においてふたたび両軍は戦い、その日のうちに撤兵隊勢は壊滅しました。

同年5月には下総野鎮撫府が設置され、肥前佐賀藩が武力を背景に下総・下野を軍政下に置くことになります。

戦闘の舞台そのものとなることはありませんでしたが、当時の千葉市域の人びとも、大きな歴史の転換点を目の当たりにし、その渦中に身を置いていたのです。

【参考】『千葉市史 第二巻 近世近代』（千葉市、1974年）山形 紘『市川・船橋線戦争—幕府陸軍撤兵隊始末—』（崙書房、1983年）

平成30年度 千葉市史主催 講座のご案内

1 市史研究講座「千葉市の歴史を学ぶ」

定員 250名。会場；千葉市生涯学習センター2Fホール
対象；千葉市に在住・在勤・在学の方。
全2回（1回2講演、各講演80分）。
講演1；13:30～14:50、講演2；15:10～16:30
日 程：9/29・10/20（いずれも土曜）
＊市政日より（9月号）で募集予定。
くわしい内容については現在調整中のため、上記市政日よりや郷土博物館ホームページなどでご確認ください。

2 古文書講座

初級古文書講座 「江戸時代の村の古文書を読む」
古文書解説初心者対象。全6回。
講師は小代渉先生（株式会社東京堂出版編集部）。
日程は5/12・6/2・6/30・7/7・8/4・9/1（いずれも土曜日）。
同内容で午前・午後の部の2回に分けて開催（午前10:00～12:00、午後13:30～15:30）。市政日より（4月号）で募集。

中級古文書講座 「江戸時代の村の史料を読む」（仮）
古文書に慣れ、ある程度読める方を対象。全6回。
講師は小関悠一郎先生（千葉大学教育学部准教授）。日程未定。

＊詳細は市政日より・郷土博物館HP等を参照のこと。いずれの古文書講座もテキストは江戸時代に書かれた古文書の複写を使用。各回定員40名。千葉市立郷土博物館講座室にて。

たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております!!



【申込方法】

いずれの講座も往復葉書・電子申請でのお申込みです。

住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号

を明記のうえ、下記千葉市史編さん担当までお申し込みください。

葉書の場合、一枚につきお一人のご応募となります。

電子申請の方法ほか詳細は市政日より・千葉市立郷土博物館HPにてご確認ください。

※お申込み多数の場合、抽選となります。

千葉市立郷土博物館

検索

CLICK!

問い合わせ先

千葉市立郷土博物館 市史編さん担当
Tel. 043-222-8231

ちば市史編さん便り 20号 Chiba-shishi News Letter No.20

発行日 2018年3月30日
編集・発行 千葉市立郷土博物館 市史編さん担当
〒260-0856 千葉市中央区爰鼻 1-6-1

2020年東京オリンピック・パラリンピックまであと2年。千葉市でも幕張メッセでフェンシングやテコンドー、ゴールボールなどが開催される予定です。観戦のために海外から訪れる人もたくさんいるでしょう。羽田空港や成田空港からのアクセスに大活躍するに違いない鉄道。そして日常では通勤通学の足として、我々の最も身近な交通手段のひとつである鉄道について、本号とほぼ同時に発行される『千葉いまむかし』31号では、「明治千葉町における乗り物事情」と題し、明治期の新聞記事を中心に千葉町における鉄道黎明期のお話をしています。

本号では、これより新しい時代、昭和期の鉄道や駅などについて、当時の市政だよりや写真、絵葉書等を使って、軽〜くご紹介していきます。◀

⑥の千葉都市モノレールは、懸垂式モノレール（つり下がったあの姿）としては世界で最長、2001年にギネス登録が認定されています。愛称はタウンライナー。1988年に2号線（スポーツセンター⇄千城台間）の開通後、1999年の1号線（千葉⇄県庁前）が開通、現在の路線が完成します。2008年のアニメ『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』とのコラボレーションをはじめ、さまざまなラッピングが施された車輛が走っていることは、千葉の町中のひとつの特徴的な風景となっています。

さて、そんなモノレールが開通したときに出された市政だより(1988年3月20日,第902号)を見てみましょう。下記「都市モノレール・ルート図」からもわかるように、千葉市の鉄道はかなり限られた地域を走っています。モノレールは、いわばその「隙間」をうめるもの。▶

◁記事から通勤・通学や買い物が便利…と市民の期待も高まっていたことがうかがえます。現在、JR千葉駅のペリエ千葉エキナカや駅ビルの一部開業にもなっており、千葉駅での乗り換えもかなり便利になっていますが、このときも都賀駅での乗り換えが便利である旨を強くプッシュしています。

続いて、ドローンも飛びかう近未来都市（になりつつある）海浜幕張エリアを擁する②京葉線。1986年、千葉みなと駅と西船橋駅間を最短21分で結ぶ、新しい都心への足として開通したこの路線。現在は幕張メッセでのイベントへ参加する人びと、東京ディズニーランド周辺へ向かう人びとで大変賑わっています。いまでは当たり前前のその光景、それを生み出すまでに相当な年月と苦労があったようです。当時の市政だよりにより寄せられた、◁

り足の不便さにあったことに鑑みて、いかにも爽快！。思わず「バンザイ」と発したい感激です。しかし喜びの陰の感情にも眼向け、既存のバス路線やタクシー便との連携、また騒音公害のことに配慮をして、みんなで恩恵を分け合うことにしたいものです。（…後略…）（1986年3月1日,第828号）

下図は、多くの地図を作成した画家峯庫治氏が1961年に描いた「三十年後の京葉地帯構想図」。大胆にも京葉線のように海岸沿いを走る鉄道、空には飛行機やヘリコプターが飛び交う様子が描かれています。このおよそ25年後、京葉線が開通することになると知っていたかのように。

ここまで2つの路線の開通時を見て参りました。「明治千葉町における乗り物事情」によると、千葉町に初め

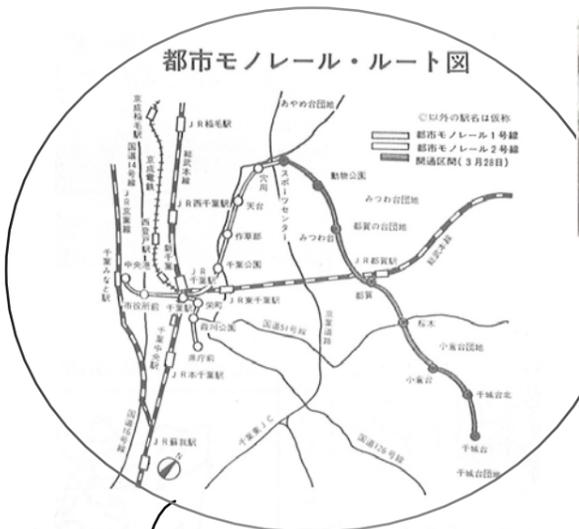


題して「千葉市の鉄道 フレイバック!!」

現在、千葉市内を走る鉄道は大きく分けて次の6路線。

- ① JR 東日本総武線快速・各停、総武本線
- ② JR 東日本京葉線
- ③ JR 東日本内房線
- ④ JR 東日本外房線
- ⑤ 京成電鉄千葉線
- ⑥ 千葉都市モノレール

今回は、なかでも新しいところから、②と⑥をご紹介します。

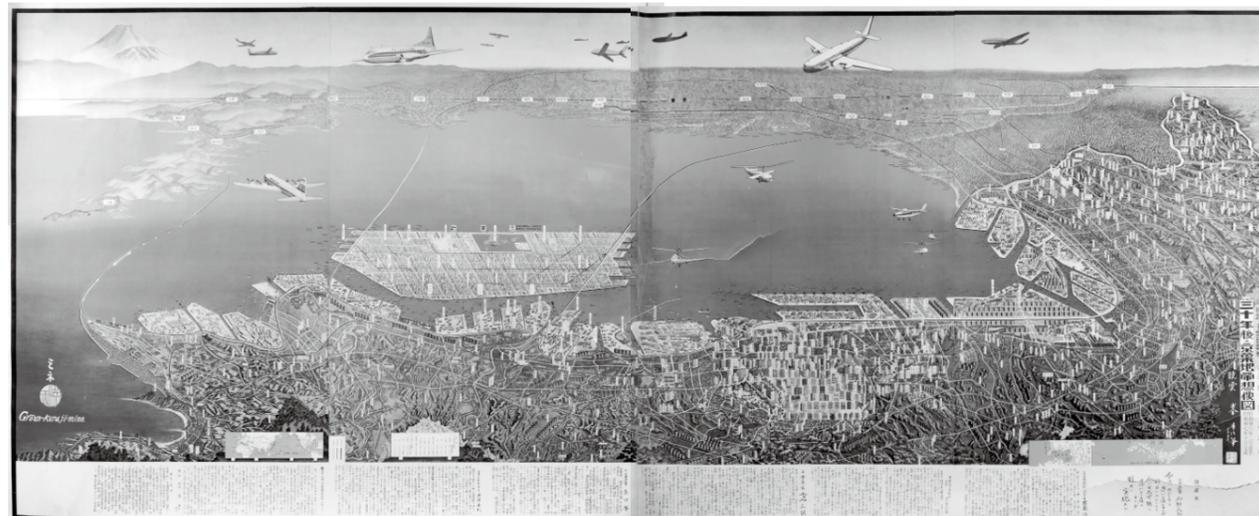


建設中のモノレール線路の様子（小池淳達氏収集資料箱22-1（上）箱22-4（下）、1988年11月1号線、千葉公園・穴川周辺）

◁松井旭市長のコメントを少し抜粋してみましょう。

「（…前略…）長い待ちぼうけではありました。"湾岸鉄道"の呼び名で、コンクリートの架線橋が無縁のままに懸ってやがてコト、コトとコンテナを運ぶ貨物車が通出したのが、50年の5月というから、かれこれ14～15年にはなるうか。（…中略…）先輩たちが成し与えてくれた海岸埋立の副都心。何か欠落していたもの。それはやは

て鉄道が通ったのは1894年（明治27）、総武鉄道株式会社が市川⇄佐倉間を開通させました（現総武線①）。東京に蒸気機関車が走り始めたのが、この約20年前の出来事だったといいます（房総鉄道（内房線③・外房線④）は1896年に乗り入れ開始）。次号以降は更に古くからある路線・駅について、写真や絵葉書から、更に時間を遡って迎っていきます。



三十年後の京葉地帯想像図（峯庫治家文書3-1,1961年）



ちば市政だよりNo.902（1988年3月20日）



『千葉市史』編さんのため、古い資料・昔の写真などの情報を集めています。ご家庭で撮影されたスナップ写真も、当時の「千葉」をみることができると貴重な資料です。いわゆる「古文書」も大歓迎です。聞き取り調査も行って欲しいと思っています。戦時中の体験、幼い頃の記憶など、千葉市域に関してお話しただけの方もおられましたら、ご連絡ください。ご提供頂いた資料、何とお話の内容の扱いには、十分配慮致します。皆さまからの情報提供をお待ちしています。

資料、
求め。